学校番号	304

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校政治経済新訂版（実教出版）						
副教材等	政治経済資料集　（とうほう）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基本的な用語についての正確な理解を深める。教科書や資料集にある説明や資料から理解を深める。授業の内容をメモにとる。

日頃から、ニュースなどに関心をもち、関心を持った事柄については、本を読むなどして考察を深めるようにする。

自分の考えを、他者にわかりやすく説明できるように、文章にまとめる。

以上のことを日常的に行なう。

2　学習の到達目標

広い視野にたって、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養うとともに、探究の方法や技能を身につけさせる。

また、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者となるために、現実の社会に様々な立場や考え方があることを理解したうえで、現代社会の諸課題について判断させ、社会に関する健全な批判力を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考えようとする。	現代の政治、経済、国際関係に関わる具体例から、課題を見いだし、その本質や特質、望ましい解決のあり方について、様々な角度から考察し、様々な立場や考え方を踏まえ、判断する。	・様々なメディアから情報を収集し、有用な情報を主体的に選択し、活用する。 ・資料などの統計から、問題点や課題、傾向などを読み取る。 ・考察した結果をまとめ、わかりやすく提示する。	・現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	レポート発表 新聞など資料集め メモなどの書き込み グループ学習での発表内容 体験型学習での参加の仕方 ワークシート	プリント・ワークシートでの考え方記入 レポート発表 グループ学習での発言のまとめ内容	プリント記入・ワークシート テストでの資料読み取り レポート発表	テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点	単元(題材)の評価規準	評価方法			
			a	b	c	d		
1	民主政治の基本原理と憲法・政治のしくみ	・政治と法の機能 ・人権保障と法の支配 ・議会制民主主義 ・日本国憲法の基本原理 ・平和主義と自衛隊 ・基本的人権の保障と新しい人権 ・国会・内閣 ・裁判所の機能と司法制度 ・地方自治と住民の権利 ・選挙制度・世論	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:私たちの生活と政治との関わりや、基本的人権に理解を深めようとしている。 b:民主主義や立憲主義の意義について考察できる。 　基本的人権の諸課題について具体的判例を元に考察できる。 c:示した資料についての読み取りができている。 d:各学習内容についての理解を深めている。	プリント提出 テスト グループ学習での発表 感想文 ワークシート 模擬裁判

1	現代の国際政治	・国際社会と国際法 ・国際連合の組織と役割り ・国際政治の動向 ・国際紛争と難民問題 ・軍備管理と軍縮 ・日本の外交と国際平和への役割り	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:現代の国際政治や国際紛争についての関心を高め、紛争など要因について意欲的にやん急し、日本や自分の役割りについて考えようとしている。 b:国際政治の課題や国際紛争の要因について、多角的な側面から考え公正に判断している。 c:適切な資料を活用している 　統計や地図が読める d:国際機関の役割について理解し、知識をもつ。 国際法や、軍縮について、国際法の役割りを理解できている。 ・国際的な人権擁護の取り組みについての理解ができている。	ワークシート レポート 発表 テスト

2	現代の経済のしくみ 現代経済と福祉の向上	・経済主体と経済活動 ・市場経済の機能と限界 ・経済成長と景気変動 ・物価の動き ・金融のしくみとはたらき ・財政のしくみとはたらき ・日本経済の歩み ・中小企業の地位と役割り ・農業の現状と課題 ・消費者問題 ・高度情報社会の進展と課題 ・労働問題 ・社会保障制度の充実	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:経済的な問題について、関心をもち経済活動のあり方と国民福祉の向上の関連について、客観的に考えようとする。 b:現代の経済から課題を見いだし、現代経済のあり方を多面的・多角的に考察し、国民福祉の向上と経済の関連について考察している。 c:経済に関する諸資料を収集し、活用すると共に、資料から様々な課題を読み取れる。 d:経済の仕組み、財政・金融の仕組みについての理解を深め、基本的な概念や理論を身に着ける。 ・国民福祉や労働に関して、関連法規についての知識をもつ。	ワークシート レポート テスト

2	世界経済と日本	・国際経済のしくみ ・国際協調と国際経済期間の役割り ・地域的国際統合 ・グローバル化する経済 ・南北問題と日本の役割り	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○	a:国際経済のあり方への関心をもち、グローバル化する経済の課題について関心を高める。 b:国際経済から課題を見出し、国際経済の特質を多面的・多角的に考察し、国際経済における日本や企業の役割りについて考察する。 c:国政経済に関する資料を収集し、主体的に活用する。 d:貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済期間の役割りについて理解し、基本的な概念の知識を得る。	ワークシート レポート テスト
3	現代社会の諸問題	地球環境問題 国際経済格差の是正と国際協力 人種・民族紛争と地域紛争 国際社会における日本の立場と役割	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	a:国際社会が抱えている問題について、関心を高めている。 b:それぞれの課題について具体的事例をもとに多面的・多角的に考察し、望ましい解決方法を探究している。 c:国際関係について諸資料を収集し、分析している。 d:国際社会の諸課題を考える上で、必要な法や理論についての知識がある。	レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。